

神奈川県立デザイン史学研究会
神奈川大学人文学研究所主催シンポジウム（共同研究グループ「観光と美術」企画）

共同企画：デザイン史学研究会

【登壇者】(50音順)

デザイン

暮沢 剛巳

(東京工科大学)

ミュージアム

太刀川 英輔

(JIDA 理事長 / NOSIGNER 代表)

の

花井 久穂

(東京国立近代美術館主任研究員)

ビジョン

深川 雅文

(インディペンデント・キュレーター / クリティック)

横山 いくこ

(リード・キュレーター M+ 香港)

司会 角山 朋子

(神奈川大学)

7月9日(土) 13:30 - 17:00

要申込(参加費無料)

お申し込み期限: 7月3日(日)



こちらのQRコードから
お申込みいただけます

会場: 神奈川大学 みなとみらいキャンパス 4F 米田吉盛記念講堂(オンライン同時配信)

※新型コロナウイルスの拡大状況によってはオンライン開催のみとなる可能性があります。

プログラム

13:15	開場
13:30	開会の挨拶
13:35	登壇者紹介
13:40	「デザインミュージアムのビジョン」 深川 雅文
14:00	「民藝運動とミュージアムの思想」 花井 久穂
14:20	休憩(15分)
14:35	「デザインミュージアムの可能性」 太刀川 英輔
14:55	「M+香港: デザイン&建築コレクション形成の10年」 横山 いくこ
15:15	「ICOM 職業倫理規定と日本のデザインミュージアム」 暮沢 剛巳
15:35	休憩(20分)
15:55	パネルディスカッション
16:55	閉会の挨拶
17:00	閉会

2022年、デザイナー三宅一生の国立デザインミュージアム設立宣言から10年を経て、あらためてデザインミュージアムの現在と未来の可能性を考えます。近年、人びとの生活にかかわるデザイン、工芸、プロダクトなどをテーマとする展覧会が増えています。日本にはいまだ国立のデザインミュージアムは存在しません。デザインをミュージアムの領域にいかに関わり込んでいくのかという課題、そして日本でのデザインミュージアムのあり方についての議論をさらに推し進めるべき時期にあると考えます。

本シンポジウムは、そうした議論を広げる場として、研究者、キュレーター、デザイン関係者によるトークとパネルディスカッションを行います。

お問い合わせ先: designmuseum.symposium22@gmail.com